

ふれあいキャンパス 多様な他者とのふれあい

11月8日（火）、連携型中高一貫教育生徒交流事業「ふれあいキャンパス」が開催されました。

ふれあいキャンパスは、連携校生徒（小瀬高・明峰中）の交流が最大の目的です。明峰中と小瀬高の生徒は、百人一首やペーパークラフト等の10講座に分かれ、様々な活動に取り組みながら互いに交流を深めました。普段の学校生活ではなかなか交流することがない「多様な他者」とコミュニケーションを取ることで、自分の世界を広げることができたのではないのでしょうか。

参加した生徒からは、「小瀬高の先輩とコミュニケーションを取りながら活動することができた」「中学生と一緒にチームを組んでバレーホールをしたのがとても楽しかった」「自分が説明していることを中学生が一息懸命聞いてくれた。ゲームなども楽しんでくれたからみんなで協力することができた」等の感想が寄せられました。



<親子学習会「フラワーアレンジメント教室」>

11月5日（土）、1学年の生徒・保護者を対象に、「フラワーアレンジメント教室」を実施しました。

茨城県産品や地元産業を活用することで、保護者に本校の取組を理解していただき、生徒が主体的に地元産業について学び、地域とともに歩む教育を目指すねらいがあります。今回は、講師として、「カントリーフラワーひまわり」より関さん、岸さんをお招きし、クリスマスをイメージしたフラワーアレンジメントづくりに挑戦しました。

参加した生徒からは、「きれいに飾り付けをするのに苦戦したけど、季節を感じながら楽しむことができた」、「親子で何かを一緒に作るのは久々だったので嬉しかった」等の感想が寄せられました。みんな笑顔ですね。

